

越嶺会報

令和 5 年（2023 年）8 月 1 日

第94号

発行 越嶺会本部

〒930-8555（富山市五福3190）

富山大学経済学部内

☎（076）445-6411（ダイヤルイン）

Fax（076）445-6419

郵便振替 00710-9-14562

メールアドレス etsurei@eco.u-toyama.ac.jp

越嶺会ホームページ



母校創立99周年の年です。

越嶺会総会においでください。

10月15日(日)正午 オークスカナルパークホテルで開催します
(24頁ご覧ください)

100周年記念事業募金にご協力ありがとうございます。

すでに送金いただいた方にも、振込用紙を入れてあります。

周りの方にお勧め願います。また、分割で払い込みされても結構です。

——— 目 ——— 次 ———

第1部

経済学部100周年記念事業について

御礼とお願い	2 頁	芳名録（第1回）	3 頁
記念事業一覧	7 頁	実行委員のお名前	9 頁

第2部

越嶺随想 10

翻訳本を読み比べる楽しみ（2） 杉浦吉治

母校だより 11

教員の異動 新任 3 名 転出 2 名

極東地域研究センターの新たな展開

卒業 入学

学生の動き

同窓会連合会 ゴルフ／総会 15

各支部だより 16

関西支部総会報告 近畿富山県人会総会へのお誘い

五福会の集い

卒業論文をお返します。 18

論文を書く苦しみ 高松正昭

会員広場 19

「なんでも鑑定団」に出演しました 増井秀次

高商17回卒業アルバムをご寄贈いただきました。

会員の訃報 20

富山大学基金だより 第21号 21

富山大学ホームカミングデーのご案内 23

一〇〇周年記念事業募金の御礼とお願い

永遠のエコシステムとなる越嶺会を目指して



越嶺会会長 伍嶋 二美男

我が母校・富山大学経済学部は、旧高岡高商の設立から数えて来年の令和六年九月には創立百周年の大きな節目を迎えることとなります。

おかげをもちまして、現在、我が越嶺会は約二万五千名を超える会員で構成されるなど大きな組織となり、会員相互の親睦や絆を深めることはもとより、国内外における様々な分野で活躍する有為な人材の養成母体として、引き続き重要な役割を果たしていくことが求められております。ここにこれまで長きにわたり、本会の円滑な事業運営にご理解、ご支援いただきました会員の皆様に対して深く感謝申し上げます。

来る百周年は、改めて会員自身が来し方を振り返るとともに、今後の越嶺会の立ち位置を考えるうえでの貴重な機会になるものと考えております。

来年度の記念事業の活動においては、会員の皆さんにとってこれからも越嶺会を心の拠り所の一つとして大切に思っていただけのように、会員及び現役学生の皆さんの距離を縮めるとともに、しっかりと未来にバトンが繋がる取り組みを数多く展開できればと思っております。

特に、記念行事の大きな柱としては、「新たな価値創造にチャレンジする人材育成」に向けたソフト事業と、環境整備として「経済学部棟講義室の改修やOBサロンの設置」などのハード事業に取り組むこととしております。

現在、募金部会や式典・祝賀会部会などからなる実行委員会を発足させて、記念大会に向けて鋭意準備を進めているところではありますが、会員の皆さんのご協力を得ながら一体となつて取り組み、記念式典等を最高の笑顔で迎えたいと切に願っております。

また、こうした事業を進めるため、本年三月から開始しました募金（寄附金）につきまして、多くの会員からご芳志をいただいていることに対しまして、この場をお借りして深甚なる感謝を申し上げます。

今後とも、記念行事の進捗状況について越嶺会のホームページ等で随時お知らせをしておりますので、さらなるご協力、ご支援を賜りますようお願いいたします。

会員の皆様には、是非、他のOB会員の皆さんと連絡をとりながら、「百周年を富山の地で祝おう。」とお声がけいただくようお願い申し上げますとともに、今後とも越嶺会が心温まる永遠のエコシステムとして続きますことを念願してご挨拶いたします。

◇100 周年記念事業に 1000 万円

中尾哲雄さん（学部 8 回）

寄付者ご芳名録（第 1 回）

2023 年 3 月「越嶺会報第 93 号」にて、母校創立 100 周年記念事業の寄附をお願いしましたところ、早速多くの方々からご送金いただきました。本事業へのご理解、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

ここに、寄附者のご意向を踏まえまして、ご芳名等を記して御礼申し上げます。

高商																					
十八回																					
越田 繁																					
一万																					
学部																					
一回																					
鍛冶 功																					
五千																					
二回																					
堀田 章																					
五千																					
三回																					
沖 伊三																					
一〇万																					
五回																					
杉林 武																					
二万																					
荒城 重義																					
一万																					
木村 昌治																					
五千																					
早瀬 弘																					
五万																					
石黒 靖夫																					
一万																					
匿名																					
非表示																					
渡辺 章夫																					
二万																					
島倉 敏夫																					
二万																					
福田 明																					
五万																					
六回																					
藏堀 進																					
一万																					
稲垣 昭夫																					
一万																					
七回																					
舟川 宏																					
五千																					
高田 宗之																					
非表示																					
岡本 襄悌																					
二万																					
新田 倫明																					
非表示																					
中西 一順																					
一万																					
八回																					
今井 進																					
一万																					
大橋 武次																					
一千																					
高土 哲夫																					
一〇〇万																					
中尾 哲雄																					
一〇〇〇万																					
新保 外廣																					
一万																					
多島 正明																					
一万																					
高林 信二																					
二万																					
松山 俊三																					
二万																					
九回																					
山村 幸男																					
一万																					
中 修司																					
一万																					
匿名																					
非表示																					
本江 繁靚																					
一万																					
十回																					
高木 敏男																					
一万																					
上田 忠男																					
一万																					
杉政 靖雄																					
五千																					
太田 龍也																					
非表示																					
佐橋 守																					
一万																					
篠田 勉																					
二千																					
中山 賢治																					
一万																					
十一回																					
匿名																					
非表示																					
島田誠二郎																					
一万																					
石出 宗秀																					
非表示																					

伊藤 壽彦	非表示	渡邊 慶孝	三万	十七回	高田 幹夫	一万	山下 寛	非表示
松野 健作	一万	杉浦 吉治	二万		呉座谷孝一	一万	能町 誠一	二万
高橋 邦文	五千	南 章	一万		兼松 稔	非表示	金森喜久男	一万
十二回					黒田 宣夫	一万	藤田 龍造	一万
小橋 啓一	非表示	水野 俊雄	二万		大坪登喜雄	一万	田辺 知昭	二万
藤田 勇	一万	中谷 正八	三千					
		熊谷 隆夫	非表示		篠田 政治	一万	二十回	
永井喜一郎	非表示				佐野 憲正	非表示	寺林 敏	三万
柳原 紀一	二万	杉田 征司	一万		殿村 和敏	一万	匿名	非表示
瀧脇 通康	五千	内藤 克昭	一万		中西 誠一	一万	大谷 忠久	一万
飯田 捷政	五千	片岡 英夫	二万		西坂 緑郎	二万	森下 俊夫	一万
上野 一美	二万五千	東 勲	一万	十五回			堀切 実	五万
十三回					磯井 幹彦	非表示	関井 哲仁	五千
金山 満	五千	子吉 重信	一万		島田 重夫	一万	上田 敏裕	一万
小林 一志	一万	入江 鐵夫	二万	十八回	二口 孝志	六千	森田 博	一万
松本 浩	二万	重久 修造	非表示		稲村 敏夫	二万	吉谷 知二	非表示
佐々木法一	五千	中澤 邦雄	四千		富田大三郎	一万	澤合 文雄	二万
博多 義雄	一〇万	小杉 正義	五千		盆下登美雄	一万	浦本 寛	二万
熊本勝四郎	非表示	林 茂春	非表示		宮地 秀明	非表示	谷 和夫	二万
谷垣 喜博	一万	清水 忠勝	五千		野村 邦雄	一万	角出 憲明	一万
中村 稔	四千	今井 松男	二万		松田 弘之	非表示	小竹 茂樹	三万
山本 修三	非表示	匿名	非表示	十九回	田畑 敏美	二万	二二回	
西田 達弘	五千	瀬筒 澄博	二万		後藤 健次	二万	堀 雄一	一万
吉居 謙治	一万	渡久山 楯	非表示		西堀喜久夫	非表示	安田 隆	五千
十四回					福田 幸進	二万	杉森 聡	二万
四津井宏至	一万	蓑 國夫	二万				中村 昌弘	三万
中山 武夫	一万	堀 道彦	二万					

[illegible]

三三回	横田 謙治	一万	三八回	山田 毅幸	非表示	五〇回	沢田 将稔	一万	十回	安倍 清	二万
	福田 直之	二万		匿名	非表示	五三回	西 晴子	五千	十一回	北林 恒好	五千
	田中 博明	非表示		西井由美子	二万	五八回	村外 拓也	一万		重松 文治	一万
	北越 浩和	二万	三九回	匿名	非表示	五九回	川口 彰悦	一万	十二回	古田 暉彦	二万
	中本 秀史	二万		亀永 辰之	二万		槻尾 寛子	五千	十三回	嶋田 茂晴	一万
三四回	田中 聡	二万	四〇回	南 和花	一万	六五回	匿名	非表示	十五回	松野 優	五千
	館 秀秋	一万		三原奈緒子	一万	七〇回	徳永 恵一	五千	十六回	浦田 竹昭	一万
	土屋 誠	五万		吉住美弥子	非表示	元教員	匿名	非表示	二十回	吉川 正恒	五千
	松代 憲和	二万		肥田真理子	非表示		武井 勲	非表示	二一回	村井美貴子	五千
	棚瀬 重雄	非表示	四一回	本田 泰郎	三万		香川 孝三	一万	二四回	山崎 宗良	一万
	松本 晃司	一万		田中 克佳	二万	短大			二六回	匿名	非表示
	寫田 靖士	非表示		匿名	非表示						
	松本 智弘	四万		神保 州広	二万	二回	稲垣 實	一万	院		
三五回	太田 靖一	二万	四二回	東田 勇秀	二万		稲垣 喜夫	五万			
	大橋 永幸	一万		匿名	非表示	三回	吉崎 正二	五千	三〇回	田形 昌敏	一〇万
三六回	三井 麻美	一万		土本 賢	非表示		押田 邦夫	三万	七月二七日現在 三〇六件 一七二三万円		
	中野 岳	一万	四三回	若林 和美	一万		新開 実	五千			
	山内 聖一	一万		斉藤 学	二万	四回	水馬 正和	一万			
三七回	谷畑 滋英	二万	四四回	石井由紀子	五千	五回	稲垣 進	一万			
	関戸 浩一	二万	四五回	宮田 昌英	一万		稲垣 寛	五千			
	酒井 誠	非表示	四八回	矢野 靖幸	一万	六回	匿名	非表示			
	常盤 典靖	一〇万		沖 よし子	一〇〇万		大垣 輝夫	一万			
	関原 説明	二万	四九回			八回	山崎 弘之	一万			

富山大学経済学部（旧高岡高商）創立一〇〇周年記念事業

1 基本方針

富山大学経済学部の創立一〇〇周年の大きな節目を迎えるにあたり、創立五〇周年から実施された各記念事業の内容を踏まえつつ、母校である富山大学経済学部のさらなる発展に向けて、同窓生の連帯を強めるための事業を展開する。

越嶺会は、これまでの長い歴史を背景に、現在、約二万五千人の会員を有するまでに人材の輪を拡げてきており、国内外の経済活動をはじめ地域振興の担い手となる多くの有為な人材を輩出してきた。

一方、近年、社会のグローバル化が進むとともにデジタル化などの先端技術の進展、地球温暖化に対する適切な対応が求められるなど、社会情勢は激変の中にある。こうした時代にあつて、多様な能力を活かしながら新たな付加価値を創造し果敢に未来を切り拓いていく人材がこれまで以上に求められることから、越嶺会としてその担い手の育成に向けて重点的な支援に取り組むものとする。

2 記念事業

(1) 記念大会の開催

二〇二四年（令和六年）十月十三日（日）

◇ 記念式典、記念講演会、ゼミ発表会 ※1・2
午前十時～十二時

会場 「オーバードホール」

◇ 祝賀会
午後一時～三時三十分

会場 「オークスカナルパークホテル」

※1 直接参加またはオンラインによるハイブリッド開催
※2 現役学生に対する参加呼びかけ

（学生参加行事の検討…ゼミ活動発表会等）

■ 同期会・ゼミOB会、ゴルフ大会、所縁の地を巡るバスツアーを実施。

(2) 「新たな価値創造にチャレンジする人材育成」に向けた支援
現役学生の学びへの支援として、従来の「越嶺会基金」及び「越嶺会奨学基金」による対応に加えて、人間力に溢れ、リスクを負って果敢にイノベーションにチャレンジする「時代が求める実践的な人材育成」に向けた支援を重点的に行う。特に、県内企業との連携を強化していく。

① 越嶺会会員が講師等となる「寄附講座の開設」

■ 学部一年生から四年生まで、切れ目のない一貫通貫型の講座開設

■ 事業現場（企業側）との交流（マッチング）による実践型人材の育成

学部一年生：社会課題への理解や専門技術に関する

スキルの習得

二年生…事業経営現場の課題の発見及び解決策の検討

三年生…インターンシップ(コミュニケーション・チームワークの習得)

四年生…ゼミ活動の発表

② スタートアップ(起業・創業)に向けた機運醸成

■ 全国的に人口減少が進む中、新たな付加価値を高め産業創造を促すなどの新陳代謝を進めていくため、現役学生の起業家精神を涵養する講座等を開設する。

※テーマ等については、教員の皆さんと協議して設定。

(3) 環境整備

① 「経済学部棟講義室の改修」

卒業論文発表時や越嶺会支援の特別講義に活用

② 「七〇周年記念事業による学部棟周辺緑地等の補修整備」寄贈壁画「劔岳」の整備(清掃・補修)

③ 経済学部棟内での「OBサロン」の設置

④ 「経済学部特別史料室」及び「大熊信行文庫」の充実

(5) 「経済学部一〇〇年史」の発刊
(4) 「経済学部一〇〇周年記念 会員名簿」の発行

3 募金の考え方について

(1) 募金実施期間

二〇二三年(令和五年)三月～
二〇二四年(令和六年)七月三十一日

(2) 募金方法

① 越嶺会報第九三号(二〇二三年三月発行)の第一部を「一〇〇周年記念事業特集」として、趣意書及び計画書を掲載するとともに、振込用紙を同封して募金開始。
※郵便局、銀行等(北陸、富山第一、富山、富山信用金庫)、ネットバンキングも可とする。(コンビニは不可)

② 募金は、分割も可とし、毎回の会報送付時に振込用紙を全員に同封。(周囲の会員に勧めてもらうため。)

③ 越嶺会報に寄付者名簿を掲載(募金者名の掲載についての意向を確認のうえ対応。匿名・金額不掲載など)

(3) 募金基準額

■ 基準額として、一口 五千円

【卒業年次別の募金要請口数】

A 高商、学部一～一四回 基準を設けず

B 学部一五～二四回 現七〇歳代で2口以上

(できれば4口以上)

C 学部二五～三四回 現六〇歳代で2口以上

(できれば4口以上)

D 学部三五～四四回 現五〇歳代で2口以上

(できれば4口以上)

E 学部四五～五四回 現四〇歳代で2口以上

F 学部五五～六四回 現三〇歳代で2口以上

G 学部六五～七二回 現二〇歳代で1口以上

H 短期大学部、院修了生

右記該当年齢区分に準じて1口(五千円)以上

■ 法人への募金要請額 一口 五万円

100周年記念事業実行委員の皆さんのお名前 (部会委員については新規加入を随時検討)

卒回	卒年	お名前	卒回	卒年	お名前	卒回	卒年	お名前
8 回	S35年卒	中尾 哲雄	31回	S58年卒	舟崎 友晶	49回	H13(2001)卒	沖 よし子
14回	S41年卒	四津井宏至	32回	S59年卒	竹野 博和			小笠原史郎
17回	S44年卒	上埜 進			石井 幸治	50回	H14(2002)卒	宮崎 達也
18回	S45年卒	遠藤 敏之			森永 利宏	51回	H15(2003)卒	花岡 秀樹
		宮地 秀明	33回	S60年卒	福田 直之	52回	H16(2004)卒	黒崎 正
19回	S46年卒	奥 清一 (東北支部長)	34回	S61年卒	土屋 誠	53回	H17(2005)卒	開坂 哲也
					山瀬 孝			川崎 理恵
20回	S47年卒	舟木 幸雄 (福井支部長)			木村 温子	54回	H18(2006)卒	重原佐千子
		寺林 敏			長津 輝彦	55回	H19(2007)卒	能登 幸美
21回	S48年卒	小竹 茂樹			松本 智広	57回	H21(2009)卒	道林 達也
		釜谷 春雄			丸杉 輝	58回	H22(2010)卒	福田 純子
		澤合 文雄			山田 勉	59回	H23(2011)卒	川口 彰悦
		橋本 洋二	35回	S62年卒	崎 安宏			黒川 美恵
		米原 俊孝			岡本 武			園部 佑樹
22回	S49年卒	鳥居由美子	36回	S63年卒	浦田 純一	61回	H25(2013)卒	杉江 咲樹
		杉森 聡			川端 宏典	62回	H26(2014)卒	岩井 彬穂
		三宅 博 (関西支部長)	37回	H01(1989)卒	杉本 正人	63回	H27(2015)卒	金沢 輝
		中村 昌弘 (東海支部長)			大西 哲憲	65回	H29(2017)卒	長沖 賢志
23回	S50年卒	帯原 隆	38回	H02(1990)卒	谷畑 滋英	67回	H31(2019)卒	清水 雅文
24回	S51年卒	藺守 貴弘 (石川支部長)			竹田 達矢	68回	R02(2020)卒	堀川潤一郎
		増岡 伸一			殿村 幸子			青木 佑司
25回	S52年卒	飯塚 修 (関東越嶺会長)	39回	H03(1991)卒	大波加 肇	69回	R03(2021)卒	中田 雛子
		布目 大剛	40回	H04(1992)卒	五島 直樹			吉田 未央
26回	S53年卒	堀田 正之			高木 雅弘	70回	R04(2022)卒	末石 航也
27回	S54年卒	小林 武人			二口 洋	短2回	S38(1963)卒	井澤 彩斗
		吉野 哲哉	39回	H03(1991)卒	亀永 辰之	短3回	S39(1964)卒	稲垣 喜夫
28回	S55年卒	碓井 光一	40回	H04(1992)卒	寺嶋 直美	短6回	S42(1967)卒	高田 政公
29回	S56年卒	宮村 樹			赤川 浩一	短8回	S44(1969)卒	大垣 輝夫
		鶴瀬 初弘	41回	H05(1993)卒	堺 広光	短9回	S45(1970)卒	松沢 一郎
		福井 直樹			金瀬 正志	短11回	S47(1972)卒	河原 憲行
30回	S57年卒	伍嶋二美男 (越嶺会会長)	42回	H06(1994)卒	牧山 貴英	短13回	S49(1974)卒	重松 文治
		桑原 幹也	43回	H07(1995)卒	東田 勇秀	短16回	S52(1977)卒	嶋田 茂晴
		伊野 伸英	44回	H08(1996)卒	手崎 裕之			浦田 竹昭
		山田 吉晴			小島 雅史			志村 幸光
			46回	H10(1998)卒	杉原 英樹	短24回	S60(1985)卒	中保 仁志
					村田 英久	院20回	H24(2012)卒	山崎 宗良
			47回	H11(1999)卒	大嶋 敬右			荻布 彦
			48回	H12(2000)卒	上田亜希子			
					川畑 雄史			

越嶺随想—翻訳本を読み比べる愉しみ(2)

observe in their dealings with one another, is often very little more than mere pretence and profession. From the smallest interest, upon the slightest provocation, we see those rules every day, either evaded or directly violated without shame or remorse. Each nation foresees, or imagines it foresees, its own subjugation in the increasing power and aggrandisement of any of its neighbours; and the mean principle of national prejudice is often founded upon the noble one of love of our own country.

<水田 洋 訳本>

見出し；第六部 徳の性格について第二篇 他のひとびとの幸福に作用しうるかぎりでの、個人の性格について

第二章 諸社会が自然によって、われわれの慈恵にゆだねられる、その順序について

本文； われわれ自身の国民にたいする愛によって、われわれはしばしば、どこでも近隣の国民の繁栄と拡大を、もっとも悪意ある猜疑と嫉妬をもってながめたいという気持ちになる。独立隣接の諸国民は、かれらの争論を決定する共通の上位者をもたないので、すべてが継続的な相互の恐怖と疑惑のなかに生きている。それぞれの主権者は、かれの隣人たちからほとんど正義を期待しないので、かれらを、かれがかれらから期待するのとおなじだけわずかな正義をもって、とりあつかおうという気持ちになっている。国際法、すなわち、独立諸国家が、相互の交渉において守る義務があると考えていると公言しあるいは偽装している諸規則への顧慮は、しばしば、ほとんどまったくたんなる偽装と公言にすぎない。最少の利害からさえ、最少の挑発によってさえ、それらの規則が毎日恥も悔いもなく、すりぬけられたり直接に侵犯されたりするのをわれわれはみるのである。各国民は、その隣人たちのうちのどれの強化拡大のなかにも、自己が征服されることを予見するか、あるいは予見すると想像するのであり、国民的偏見というくだらない原理は、しばしば、われわれ自身の国への愛という高貴な原理にもとづいているのである

<高 哲男 訳本>

見出し；第六部 ^{ヴァーチュエ}美德の特徴について第二篇 他人の幸福に影響を及ぼしうるかぎりで見えた個人の特徴について第二章 そもそも社会が我々の^{ベネファレンス}善行に委ねられる道理について

本文； 我々の愛国心は、他のあらゆる近隣国の繁栄や拡大を、もっとも悪意に満ちた妬みや、羨望をもって眺めようとする気分にさせることが、少なくない。近隣の独立国は、相互間の係争点に結論を下す共通の上司をもたないから、互いに絶え間のない不安と疑念を抱いて、生きていく他にない。それぞれの国の統治者は、隣国からの正義をほとんど期待できないため、できるだけ隣国から何も期待せずに、隣国を処遇する傾向がある。それぞれの国の法律、あるいはそ

母校だより

教員の異動

新任

(二〇二三年一月一日付)



Xie Di (シャ ティ) 助教

経営学科 組織行動論

担当 経営管理論 A・B

最終学歴 立命館大学

人間科学研究科

博士後期課程修了

(人間科学)

出身地 中国北京市

ひとこと 中国において学部

を卒業してから、四年半アメ

リカ系製薬企業に務めており、

採用、MR、新人研修に携わ

ってきました。特に約三年間

の新人教育研修プログラムを

担当していた間に、新人離職

新人の組織社会化などの組織

課題について問題意識を持つ

ようになりました。二〇一六

年に修士課程進学に伴い来日

し、立命館大学博士後期課程

に編入し、博士学位を取得しました。前職で企業講師として講義する経験がありましたが、十代の学生に学問を教えたことが全くなかったため、不安の気持ちがありました。しかし、多くの親切的先輩教員から、学生との接し方とテキストの選び方などを教えていただきました。

新人離職、新人の組織社会化という問題意識を中心とする実証研究に行っております。新人は入社してから適応するまで、メンタル、行動、組織・グループに対する態度などが激しく変化していく時期ですので、これから時系列データを集集し、新人のメンタルヘルス、行動志向、組織に対する態度をどのように形成したのか、ダイナミックに深めていきたいと思っています。これから、富大の一員として、教育にも研究にも力を尽くしていきたいと思っています。宜しくお願い致します。

(二〇二三年四月一日付)



鈴木敬史

(すずき・たかふみ) 助教

経営法学科 (知的財産法)

担当 知的財産法、

AI社会と法

最終学歴 神戸大学大学院

法学研究科博士課程

後期課程修了。

博士 (法学)

前職 青森中央学院大学

経営法学科 講師

出身地 愛知県西尾市

ひとこと 二〇一七年に神戸

大学大学院法学研究科に入学

して以来、著作権法・商標法

を中心に、知的財産法や情報

法上の課題について研究して

きました。

「情報化社会」と呼ばれて

久しい現在ではありませんが、

大規模プラットフォーム企業

の更なる成長・AI技術の飛

躍的な進展などといった環境

の急速な変化に伴い、情報政

策を巡っては日々新しい課題

が生じています。このような

中で、一方では研究者として、各種課題に対する解決策を知情的財産法という観点から提示し、他方では教育者として、情報とともに生きる学生の皆さんに、現在または将来の課題へ立ち向かうことの面白さを伝えていきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

(二〇二三年四月一日付)



Chakraborty Shamik

(チャクラボルティ シヤミック)

サステイナビリティ国際研究

センター

(旧極東地域研究センター)

担当 サステイナビリティ学

最終学歴 立命館アジア太平

洋大学大学院

博士

(アジア太平洋学)

前職 法政大学

Sustainability Co-Creation

Programme専任講師

生 年 一九八〇年九月

出身地…インド西ベンガル州
ひとこと…私は二〇一一年に
立命館アジア太平洋大学から
博士号を取得し、それ以来、
国連大学サステイナビリティ
高等研究所 (UNU-IAS)、
東京大学サステイナビリティ
連携研究機構 (IR3S)、法
政大学Sustainability Co-cre-
ation programme (SCOPE)
にて教育研究活動を行なっ
てきました。

研究に関しては、人文地理
学および、社会生態系の視点
から人間と環境の相互作用を
分析することに関心がありま
す。今まで日本、インド、ネ
パール、バングラデシュ、フ
イリピン、インドネシアの多
様な生態系において、社会生
態系システム、先住民の知識
生態系サービス評価、水資源
管理の研究に取り組んでいま
した。

二〇一五年からは、特に持
続可能な資源使用や自然保全
のため伝統的及び地元知識に
関する生態系サービスの評価
研究に焦点をあて、日本の里
山・里海の生態系を含め、バ
ングラデシュ、インド、とネ
パールに同じく、人間と周辺
の環境の相互作用で管理され

ている社会生態系システムに
ついて研究を進めています。
富山大学で新しい設置され
た大学院持続可能社会創生学
環グローバルSDGsプログラ
ムと、サステイナビリティ国
際研究センターでの教育研究
活動に取り組み、素晴らしい
同僚たちとともに富山での生
活ができることを大変嬉しく
思っています。

転出

(二〇二三年三月三十一日付)
小寺 剛・准教授

重細亜大学経済学部へ
高原 豪・助教
専修大学経済学部へ

極東地域研究センターの 新たな展開

富山大学経済学部は、冷戦
が終結する以前から環日本海
地域の研究に熱心に取り組ん
できました。一九七三年に富
山大学北陸経済研究所が日本
海経済研究所と改称し、そし
てソ連崩壊後、環日本海経済
圏構想など日本海を通じた対
岸諸国との経済交流が注目さ
れるようになると、一九九七

年に経済学部附属環日本海地
域研究センターに改組され、
二〇〇一年に文科省省令施設
として極東地域研究センター
が設立されました。北東ア
ジア地域の経済・社会・環境に
関する総合的な地域研究を志
向し、この地域の経済発展が
社会的安定と環境保全を伴い
ながら実現される道筋、つま
り、持続的発展への道筋を追
求するという理念のもと、極
東地域研究センターは小さい
ながらも活発な研究活動を行
ってきました。



本センターの活動を支えて
きたスタッフが退職・異動を
するなか、私たちはセンター
の新たな展開を模索してきま
した。これまで進めてきた北
東アジア地域研究の理念を継
承しつつ、北東アジア地域研
究という各国・地域の国境・
境界・研究領域に縛られない
新たな地域研究の推進を目指
し、文理融合地域研究の可能
性をさらに高め、持続可能な
社会の実現に貢献するセンタ
ーに発展させるため、戦略的
な人事を行ってきました。

その結果、本年度四月に改
組が実現し、極東地域研究セ
ンターは「サステイナビリティ
国際研究センター」となりま
した。専任教員スタッフの日
常の共通言語が英語であるた
め、英名のGlobal Research
Centre for Advanced Sustain-
ability Science (GRASS) のほ
うがスタッフにとっても馴染
み深いものとなっています。
GRASSは、バイリンガ
ル教育のもと文理融合型の実
践的教育を行う本学大学院持
続可能社会創成学環グローバ
ルSDGsプログラムと連動
しており、GRASSの研究
成果は大学院教育にも還元さ

れます。

GRASSは、和田直也教授(センター長)、堀江典生教授(副センター長)、ギータ・モハン(Geetha Mohan)教授、チャクラボルティ・シャミク(Chakraborty Shamik)准教授、シシル・シャニン(Shishir Sharm)助教、楊潔非常勤研究員、馬駿教授(経済学部併任)、谷口奈那(事務担当)の八人をコア・メンバーとしています。

極東地域研究センターと同様に、今後どうぞ温かいご支援を賜りますようお願いいたします。



卒業

富山大学の第七一回学位記授与式は二〇二三年三月二三日(木)富山市総合体育館で挙行された。九学部卒業生・大学院修了生二一九一名が学位を与えられた。経済学部は三三一名、第三一回経済学研究科修了生は一五名であった。全体の式の後、学部ごとの授与式が行われた。なお、コ

ロナを警戒し今年も祝賀会は行われなかった。

式 辞

皆さん、ご卒業、修了おめでとうございます。今日の日を迎えられたことを、経済学部教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。

また、これまで皆さんの学業を支えてこられたご家族の皆様にも、心よりお慶び申し上げます。

本日、来賓として、経済学部同窓会・越嶺会の伍嶋会長にご臨席賜り、学位記の授与を行うことは、私たちの慶びとするところであります。

さて、卒業生・修了生の皆さんは、本日をもって大学での学びを終え、社会に向けて巣立つて行かれます。それぞれが社会人としての生活に大きな期待と希望を抱いていることと思います。

今年はそうした皆さんの門出を後押しするように世の中も大きく前に進みだす年になりそうです。皆さんが入学されて一年後、突然起こった新

型コロナウイルス感染症の猛威によって、思い描いたものとはかけ離れた学生生活を送ることになってしまったのではないかと思います。

授業はオンラインになり、部活やサークル活動は休止、アルバイトもできなくなるなど、これまで当たり前と思っていた世界が大きく変わってしまった、皆さんが大切にしてきた信念や価値観までもが大きく揺さぶられるような事態に戸惑われたことと思います。そうした生活が、結局、三年あまりも続いてきました。

しかし、ようやくアフターコロナへ向けての兆しが見え始めてきました。先日マスク着用が個人の判断となり、またゴールデンウィーク明けの五月八日からは感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザと同等の5類に見直されることになっています。

これに伴って、人々の活動はますます活発になり、経済活動も大きく動き出すことでしょう。そうした新しい時代の幕開けともいえる時に皆さんは社会へ巣立つていかれるのです。この三年間のコロナ禍の中で、もしかすると外の



馬ゼミ

世界に対して少し縮こまってしまう気持ちになっていくかもしれません。コロナによって世界は変えられてしまいましたが、アフターコロナの時代をつくっていくのは間違いなく皆さん自身です。そこには皆さん自身が活躍し成長していける大きな可能性が広がっています。そこでどのような世界をつくっていきたいか想像してみてください。大きな希望が膨らむことと思います。コロナ禍においてもそれに負けじと皆さんは自分自身

に磨きをかけてきたことと思います。自信をもって一步を踏み出してください。

こうした外に向かつて開かれていくような時代において、皆さんが力強くより心豊かに生きていくために必要なことは、何にでも興味を持つ好奇心、様々なことに積極的に取り組む前向きな気持ち、そして多様な人たちの気持ちを理解する心だと思っています。こうした心をぜひ持ち続けて新しい時代を切り開いていってほしいと思います。

そのうえで、皆さんがこれからの時代において輝き続けるためには、自らを磨き続けることが大切です。そのため、常に学び続ける気持ちを忘れずに持つていてほしいと思います。学びは学生時代だけのものではありません。むしろ社会に出てからこそ、学び続けることが大切になります。

新たなテクノロジーが次々に誕生し、それが多様化・高度化するにつれ、関連する様々な分野の進化・革新のスピードも速まっています。それに応じて活用できる知識・技術の有効期間もますます短



くなつていきます。常に好奇心をもつて情報を収集し、前向きに新しい学びに挑戦してほしいと思います。

その際には、ぜひ大学・大学院を活用してください。大学は卒業したら終わりではありません。新しい学び、より高度な学びのために戻ってくることもできます。それに対応すべく、大学も大学院も進化を続けています。社会人を経験して一回り成長した皆さんと議論を戦わせる学びの場が実現する日を楽しみにしています。

また大学は必ずしも学問的な学びだけではありません。皆さんは、大学生活を通じて生涯にわたるかけがえのない仲間に出会えたのではないのでしょうか。このように、大学は自らの人間性を高めていく人生の学びをする場でもあります。ですから、社会に出て



写真左から

学長表彰

地域・経済政策専攻

田 夢嵐(デン・ムラン)さん

研究科長表彰

企業経営専攻

清水 康雄さん

学長表彰

経営法学科

間馬 大翔(ケンマ・ヒロト)さん

学長表彰

経営法学科

白川 ひかるさん

困難にぶつかった時、心の支えが必要になった時には、ぜひ懐かしい学び舎を訪ねてみてください。きつと恩師や先輩たちが温かく迎えてくれるはずです。そして、再び困難に立ち向かう勇氣と力を与えてくれると思います。

さて、今日から富山大学経済学部、大学院経済学研究科は、皆さんの母校となります。二万五千人にのぼる先輩たちが築き上げてきた地域や人との繋がりは、皆さんにとってこれからの人生を生き抜く大きな財産になることでしょう。これまで大学・大学院で学んだこと、経験したことは必ずこれからあなたの糧になるはずです。皆さんには自信をもつて自らの道を進んでいってほしいと思います。

皆さんの将来が実り多きものであることを心から願いまして、経済学部、大学院経済学研究科学位記授与式の式辞といたします。

令和五年三月二三日

富山大学経済学部長

富山大学大学院経済学

研究科長 森口 毅彦

入学

富山大学入学式は四月七日(金)富山市総合体育館で行われ、学部・大学院生二四〇六名が入学を許可された。

経済学部は三六九名。

昨年から改組された大学院人文社会芸術総合研究科人文社会芸術総合専攻共創経済プログラムへの入学者は十四名であった。

昨年は四月入学が十三名、十月入学は五名であった。

富山大学

同窓会連合会

第一四回ゴルフ大会

五月二七日(土)葉窓会が世話役となって二六名が参加し八尾CCで開かれた。越嶺会から二組八名が参加した。

団体優勝は葉窓会A。越嶺会B(中本秀史、浅井清志、木勢博文、江島教英)が三位、越嶺会Aは五位であった。

2023(令和5)年地域別入学者数

都道府県名		昼間主		夜間主		合計	
		男	女	男	女	男	女
北海道		3				3	
東北	岩 手		1				1
	宮 城	1				1	
	秋 田	1		1		2	
	山 形	1		1		2	
	福 島	3				3	
関東	茨 城	1				1	
	栃 木	1				1	
	群 馬		1		1		2
	東 京	1				1	
	神奈川	2				2	
甲信越	山 梨	2				2	
	長 野	19	11			19	11
	新 潟	4	3	1		5	3
北陸	富 山	44	46	12	9	56	55
	石 川	46	36	2		48	36
	福 井	13	6			13	6
東海	静 岡	4	5			4	5
	愛 知	27	10	1		28	10
	岐 阜	19	4	2	2	21	6
	三 重	3				3	
近畿	京 都	3	2			3	2
	大 阪	1				1	
	兵 庫	3	4	1		4	4
中四国	鳥 取			1		1	
	広 島	1				1	
	愛 媛		1				1
外国の学校		1				1	
外国留学生		1				1	
計		205	130	22	12	227	142
合 計		335		34		369	

総会

七月十三日(木)十八時から富山電気ビルで開催した。

総会では決算予算等を原案通り承認し、講演会では薬学部卒の川尻千賀子・富山県薬業連合会常務理事が「富山県の薬業と信頼回復の取り組み」を約一時間、話された。

久しぶりに懇親会も開催し、寺林敏顧問(前会長)の発声で乾杯し開宴、卓を行き来し

歓談した。

各会の報告では、伍嶋会長が、母校創立百周年記念事業の取り組みについて話した。



乾杯発声・寺林前会長



懇親会 越嶺会のテーブルの一つ

学生の活動

経済学部ゼミナール協議会

「ESTUDIO」

復刊第二五号(通巻第四六号)

発行二〇二三年三月

・人口減少に伴う地域の持続可能性

本谷 哲大、日下部文哉、辻海 咲、宮原 美月

(中村和ゼミ)

・日本の自動車産業における適切な脱炭素プロセスの方向性を考えるーEVシフトに伴う日本の諸課題を踏まえた方向性ー

松田 龍聖(小柳津ゼミ)

・企業の「内部留保」への課税は適切か?ーその賃上げへの有効性を中心にー

木村 陽介、北島 昂

(小柳津ゼミ)

・富山県の人口減少に向けた課題と取り組みー若年女性と産業構造との関連を中心にー

黒岩 海斗、水馬 優花、宝田 梨沙

(矢島ゼミ)

・出生率の影響を与える要因の再検討ー富山県と福井県の比較からー

森 成羽、小村 哉太

(矢島ゼミ)

・子育て補助金と出生率の関係性について

田中 優貴、吉村 真規、川瀬 斗碧、山本 実佳、金澤 雷矢

(本山ゼミ)

・社会保障費を賄うには、税金か国債どちらがよいか

久保 大輝、吉井 暉、藤井 隼大、柳町 光、山口友利衣

(本山ゼミ)

訂正

越嶺会報第九二号第一五頁
矢島ゼミ 正 古川真尋
誤 古川真尋

各支部だより

令和五年度関西支部総会

日時 令和五年六月二十四日(土)
十二時〜十五時

場所 「がんこ梅田本店」

出席者 十九名(内来賓二名)
森口毅彦経済学部長
土屋誠越嶺会副会長

支部員

十三回 谷垣善博、二口孝志

十八回 村田 悟

富田大三郎

十九回

金森喜久男
椎原秀雄

二二回

松村雄治、田中 史

二六回

三宅 博

二九回

忠 吉春

三一回

協田守男

三三回

畑 栄一

三四回

出口高理

三七回

串田健夫

四一回

輪島土明、池田陽介

四五回

山田好孝



コロナで四年間中断していましたが、本年再開することができました。参加者の多くは常連のメンバーでしたが、今回富山から、森口学部長、土屋副会長に参加頂きました。

またニューフェイスとして三名が加わり、新たな出発に相応しい場となりました。

総会冒頭、写真撮影を行い、次に山田常任会計の司会で進行了しました。この一年、お亡くなりになった越嶺会関係者のご冥福をお祈りする黙祷に続き、三宅支部長より挨拶を頂きました。参加者には資料が配られ、お話の内容がよく分かりました。ニューフェイスの紹介、来年開催の経済学部一〇〇周年記念事業の案内、学生時代のご存命の恩師への感謝がその主な内容でした。

谷垣先輩(十三回、最年長)の乾杯の音頭により、宴会がスタートしました。

お酒が入りましたが、森口学部長の「経済学部の改組構想」について詳細な資料を配布頂き二十分程度お話を聞くことができ、経済学部が養成

を指すデータサイエンスの知識・技能を有する人材像を理解することができました。次に土屋副会長にお話し頂き、来年の百周年事業についてご尽力頂いていることが分かり、地元企業の活性化には、富山大学経済学部卒業の人材が不可欠であり、その育成のために越嶺会と大学が連携の必要性を強調されました。

ご来賓の後は、恒例の「語らいの総会」ということで、アットホームな雰囲気の中参加者一人一人のスピーチが始まりました。まずはニューフェイス三名の方のスピーチ、次に十三回の谷垣さんから四回の山田さんまで所定の場所に立ち、マイクを使つて、それぞれの思い、経験したことを語って頂きました。

ニューフェイスである金森先輩は、最新の越嶺会報に寄稿されており、富山魂のおかげでパナソニックでさまざまな仕事で成果をあげることができ、今なお情報セキュリティで中小企業の支援に取り組んでいる旨お話をされました。新たにパワーをもらった参加者も多いのではないでしょう

か。

そのほか後期高齢者に差し掛かかろうとされている諸先輩からは、今なお現役でお仕事を続けられていることや、ご家族との日常の暮らしの様子等を楽しく聞くことができました。

学生時代のスキーや寮生活、アルバイトの思い出話があり、一年余分に大学に通ったことを「大変勉強が好きでした」とユーモアたっぷりの話もありました。

また学生運動のリーダーを務めたことで、社会人となつてからも公安にマークされ続けた経験談は、現在のどこかの国とは変わらなことがこの日本でも起こっていると少し冷つとしました。

ふるさと富山への言及もありました。富山駅北側がモダンな街並みに変わり、路面電車は路線も発達し、大学から岩瀬浜に直接繋がりが、学生の安い足として活用されているとのこと。極楽坂スキー場、呉羽、小杉、南砺の懐かしい光景が思い浮かぶ話もありました。

また、会社での仕事と並行し、中小企業診断士、司法書

士、社労士、全国通訳案内士等資格を取得し、新たなチャレンジへのきっかけとしている話題もありました。

和やかな楽しい語らいの三時間があつと言う間に経過し、二口先輩の関西風一本締めで幕となりました。

今回、参加者十九名と、コロナ前の人数を確保できたのは上々と思います。引き続き五十歳より若い会員、女性の会員の参加が課題となります。社会がデータサイエンスの知識、技能を求めている中、Zoomやチャットではカバーできない人と人の触れ合い、対面での語らいの機会も重要です。その意味でもこの越嶺会関西支部総会がこれからもその役割を果たせるよう頑張つて行きたいと思っています

データサイエンス人材が求められる今こそ、富山での学生時代の思い出をベースに人と人の語らいの場が大切であり、アットホームな雰囲気です。再会できることを楽しみにします。

副支部長 脇田守男 記

各支部総会のお知らせ

九月一六日(土) 正午

東海支部総会

九月三〇日(土) 正午

関東越嶺会総会

十月一五・一六日(日・月)

東北支部総会

創立一三〇周年記念
近畿富山県人会総会・懇親会

日時…令和五年十月二二日(日)

十一時

場所…ホテルニューオータニ大阪

(大阪城近接) 二階

企画…

講話…浪花に花咲く

「人形浄瑠璃文楽」について

人間国宝 桐竹勘十郎氏

会費…一万円

申込先…越嶺会事務局

申込〆切…九月二十二日(金)

仰岳会、薬窓会の方々のための席を設けています。今年からは越嶺会の席も設けて、富山の雰囲気味わってもらおうと考えております。

五福会の集い

旧「思明寮」に住んでいた昭和四一年卒業(第一四回)の面々が、毎年「五福会」と称して集まっている。

思明寮は旧連隊兵舎で、正門の横にあった。今は屋上に太陽光発電パネルが載っている「災害対策プラザ」の処である。

十三人いて、毎年集まっていたが、この頃は七、八名になった。二名が鬼籍に入り、数名は宿泊不可である。

今回の参加は七名であった。

東京 佐田 憲一(国分寺市)
千葉 奥出 信行(野田市)
谷本 邦彦(市川市)
松嶋 良佑(浦安市)
兵庫 南部壮治郎(川西市)
石川 竹内 正勝(教育学部)
富山 久保 博紀(氷見)
(羽咋郡富来町)

八〇歳記念の年であり、六月八日・九日に富山で集まった。八日は富山駅前のホテルヴィスキオ富山に泊まった。予約時は一番新しいホテルだったが、一月にヒルトンホテルが開業し二番目に新しいホテルに泊まったことになる。



九日(金朝は、大学を見た
いと、懐かしの路面電車に乗
った。終点の「富山大学」で
降りたが、以前の「球場前」
であった。

しばらく歩いて大学に着き
構内を巡った。七階建の研究
棟、四階建ての講義棟・演習
棟など経済学部の中も見て回
り、図書館そしてヘルン文庫
も解説付きで見学できた。学
生食堂へ行き、込み合う前
と早めの昼食となった。
食後に部室を見て回った。
山岳部の部室がワンゲルと同
室と聞いて驚いた。いま山岳
部は休部とのことだった。

構内見学は感動の一日であ
った。大学のますますのご発
展を祈りながら最終コーナ
ーを行きたいと思っている。
(久保博紀 記)

卒業論文をお返しします

論文を書く苦しみ

高松 正昭

富山大学経済学部には一九
六〇年(昭和三五年)に入学し
た。第一次安保闘争が盛り上
がりをみせ、学内外で学生の
デモが頻発する混沌とした政
治の時節でもあった。デモに
参加したこともあるが、深入
りする勇氣はなかった。また
人生の目的意識も薄く、無気
力な性格の故か授業はサボリ
がちで、図書室での読書以外
は麻雀にのめり込んだ。

それでもなんとか蓮町での
教養課程を終え、五福に移つ
たが、専門課程の基幹科目で
あるゼミの選択に迷うこと
になる。麻雀仲間の一人が税理
士志望で、山崎佳夫先生の財
務会計ゼミを受けるという。
冷やかしかつてくついている
き、気が付いたら山崎ゼミに

入っていた。入門科目の簿記
概論の技術性にうんざりして
いたはずなのに、自分でも不
思議だった。ゼミの内容を説
明される山崎先生の穏やかで
誠実なお人柄に魅了されたの
だろうと今では思っている。

ゼミでは、何かと理由をつ
けてはコンパを開催し、夏休
みには山崎先生を立山登山に
お誘いするなど、楽しく活動
した。もちろん遊んでばかり
いたわけではない。その証拠
に、一九六三年(昭和三八
年)の富山大学経済学部学生
研究論文集『ESTUDIO』第
六号には、稚拙ではあるが、
拙稿「貨幣価値変動会計論序
説(1)」が掲載されている。今
回想していただいた卒業論
文はこれをベースに纏めたも
のであり、提出前日まで頻繁
に徹夜し、何度も推敲して書
き直したことを懐かしく思い
出す。論文を書く苦しみをこ
の時初めて知ったように思う。
それは「関連する文献資料を
十分読んだのか、それらを正
しく理解したのか、自らの主
張は妥当なのか」と絶えず自
問し、常に不安を抱えながら
思考する精神的負荷の多い孤

独な営みであった。

卒業後、早稲田大学大学院
商学研究科修士課程に進学し
たのは、社会に出ることを恐
れ、もう少し学生でいたいと
いう不純な動機による。しか
し、修士論文の一部を要約し
た小論文が偶然にも日本商工
会議所会計懸賞論文の第一席
に選ばれたことが契機となつ
て、指導教授の染谷恭次郎先
生のお勧めもあり、研究教育
職を目指すようになった。幸
いにも博士課程の三年次には
立正大学経営学部助手に採用
され、その後専任講師・助教
授・教授として二四年間奉職
し、一九九二年(平成四年)
には明治学院大学経済学部
に移籍、定年まで勤めた。

大学教員にとって教育と

くとも一本の論文を書くよう
に努力するも、先輩・学友た
ちの手厳しい批評に心が折れ
る繰り返しであった。そうし



ゼミ 立山頂上



山崎ゼミ コンパ

た苦しみの欠片を拾い集めて
提出した博士論文が無事に受
理されたときのよろこびを忘
れはしない。

今、目前の書架の棚に、卒
業(学士)論文「貨幣価値変
動会計論」、修士論文「質貸
借契約の表示に関する一考
察」、博士論文「現代財務会
計の思想基盤」が並んでいる。
それらは凡庸な一人の研究者
の苦しみの記録に過ぎないが、
同時に彼が歩んできた人生の
軌跡を示す道標でもある。大
切にしていきたい。

(たかまつ まさあき
学部十二回)

会員広場

「なんでも鑑定団」に
出演しました、夢が叶いました

増井秀次様から

越嶺会報 第九二号(二〇
二二年七月)で紹介しました
自著『華麗なる明治七宝』を
寄贈された増井秀次様(学部
二六回)から、明治七宝の逸
品をもつて鑑定団に出演した
と手紙が届きました。



増井秀次さん



果たして鑑定やいかに

二〇二二年十二月二十日
でした。年末最後の放映とい
うこともあり、鑑定士中島誠之
助さん、安河内さん、田中さ
ん、そして工芸品鑑定担当の
大熊敏之先生ともお会いする
ことができました。

大熊先生には、小生が富山

大学OBであることや、富山
大学図書館に本を置いてもら
ったことなど話しましたら嬉
しそうに見えました。

会員の訃報

謹んでお悔やみ申し上げます

卒業回	お名前	ご命日	卒業回	お名前	ご命日
高商17回	藤川 勝喜	令 4 . 8 . 26※	学部10回	太田 龍也	令 4.12.3
高商18回	増百 健吉	不明		道前 博	令 3.11.4
学部2回	中田 保	不明	学部15回	久古 泰	令 5.3.3
学部3回	北村 洋誠	令 4 . 2 . 23※	学部19回	青山 修	令 4.5.3
	牧野謹之助	令 3.11.5	学部20回	石間 正義	令 2.4.16
学部4回	青木 博	令 4.7.19	学部22回	中山 博行	平 31.4.16
学部5回	早苗 豊治	平 5.3.20	学部28回	五十嵐一利	令 4.10.22
学部6回	柳田 望	令 4.9.24	学部54回	萩原 康夫	令 5.1.18
	大田 龍介	令 2.1.4	短大6回	囲 光弘	令 4.4.15
学部7回	館 恭子	令 4.7.18	短大21回	橋爪 甚一	令 3.11.4
学部8回	百生 一郎	令 4.10.6			
	前田 孝夫	平 30.8.11			
	松井 則義	令 4.7.25			
	中 修司	令 4.3.11			

※お詫び：藤川様のご命日は8月26日でした。

北村様のご命日が前号で平成になっていました。 お詫びして訂正します。

宮嶋正夫さんのご子息・宮島啓明さん（鎌倉市在住）が父の遺品を寄贈したいと持参いただいた。戦時繰り上げ卒業の時代から無いものと思っていた。現物の立派さに驚いた。二二

高商第十七回
（昭和十八（一九四三）年九月卒）
卒業アルバムを寄贈いただきました。

ちよつと調子に乗って、つたない名古屋弁で河村市長に「尾張七宝美術館」建設をお願いしました。本人はいたって真剣なのです。七宝の技術と職人が失われつつある中、明治期に花開いた日本の貴重な伝統技術が少しでも維持保存されるようにと考えた末の発言です。単独の美術館建設が難しければ、名古屋市博物館等へ小生の収集品の寄贈・展示、および展示施設の拡充新設を考えております。

増井さんのホームページ

<https://www.shipoumasui.com>


QRコードから
「尾張七宝美術館」
の情報を観るこ
とができます。

cm×三二cm（A四判）、厚さ四cm台紙三〇枚。中は一枚目に校歌は印刷されていたが、後は台紙だけで各自が張り付ける形であった。皆に配付されたのであろう校舎や校長の写真がまず貼ってあった。そのあとは、友人とのスナップ写真が高岡の町の写真などと共に多数あった。



屋の一時休(中庭)
南北中寮大会優勝（北寮）



高商17回卒業アルバム



富山大学基金だより

第 21 号
2023.5.1 発行

学部1年次生 短期海外派遣 プログラム 支援事業



富山大学では、令和5年3月5日より2週間、学部1年次生をマレーシアとフィリピンの大学に派遣する短期海外派遣プログラムを実施しました。このプログラムは、教養教育院で英語教育を学修した学部1年次生のうち、海外留学の意向がある優秀な学生が参加するもので、参加費の一部を富山大学基金から支援しました。研修先は、マレーシアのトウンクアブドゥルラーマン大学とフィリピンのアテネオデマニラ大学で、今回は57名が参加しました。

研修後に行ったアンケート調査では、プログラム全体に対する満足度について、すべての学生から満足の回答がありました。



フィリピン（アテネオデマニラ大学）



マレーシア（トウンク アブドゥル ラーマン大学）



令和5年4月19日には帰国報告会が開催され、プログラム参加学生のうち4名が発表。それぞれマレーシア、フィリピンでの研修で体験した、人の温かさや優しさ、食事の美味しさ、町の雰囲気などの感想を述べました。また、生活の手段として一日中英語を使わなくてはならない環境に身を置いたことで、日本でのこれまでの生活を振り返り、今後の学生生活を高めていく原動力になったとの報告がありました。

報告会では活発な質疑応答が行われ、コロナ禍後の留学に向けて、学生たちの関心の高さがうかがえました。



帰国報告会の様子



寄附者様ご芳名一覧（令和4年10月～令和5年3月）

個人（50音順・敬称略）

會澤 宣一	井川 善也	池田 真行	井上 大輔	伊原 大輔	大石 雄基
沖津 貴志	黒澤 信幸	田 廉	酒井 秀紀	日 出夫	上 大輝
杉本 健士	関本 昌紘	黒田 雅登	竹越 栄俊	恒枝 宏史	竹村 樹里
武山 良三	谷口 直子	田村 俊介	千葉 順哉	手賀 悠真	寺島 裕一
東田 千尋	戸田 英樹	友廣 岳則	直井 小百合	中 茂樹	長柄 毅一
長坂 保彦	長崎 真一	長津 輝彦	中野 実	鳴瀬 諒子	萩原 新之介
橋本 征也	藤井 拓人	古橋 直樹	松谷 裕二	丸山 昭治	水口 峰之
水野 真理子	宮島 光志	森 雅之	守田 雅志	森山 健三	矢倉 隆之
矢田 哲也	吉田 勝一				

（ほか公表辞退 49名）

企業・法人等

一般財団法人立仁会

富山大学生生活協同組合

雷鳥会（ほか公表辞退 2社）

● 寄附者のご芳名は五福キャンパス事務局棟玄関フロア及び富山大学基金ホームページでもご紹介しております。

令和5年度支援事業

皆様方からご寄附いただいた基金により、
令和5年度において以下の支援事業を実施します。

1 学生海外留学支援事業 予算額：200万円

28日以上、1年以内の海外留学を計画する学生で、所属学部等の長及び指導教員から推薦のあった者のうち、特に優秀と認められた学生の海外留学を支援します。

2 学部1年次生短期海外派遣プログラム支援事業 予算額：600万円

教養教育院での英語学習において、優秀な成績を取った学部1年次生で、海外留学への意欲がある学生に対し、短期海外派遣プログラムへの参加費を支援します。

3 夏季オンライン英語研修プログラム支援事業 予算額：60万円

海外留学、海外研修等を見据え、海外での学修に必要な高度な英語能力の習得を希望する学生に対して、オンライン研修への参加費を支援します。

4 学部生海外学修支援事業 予算額：200万円

本学が提供する学修の一部(単位認定の対象あるいは構成要素)として実施する学部生の海外学修を促進するために、1年次生を除く学部生に対して学修資金の支援を行います。

5 海外ダブル・ディグリー・プログラム派遣支援事業 予算額：150万円

海外大学とのダブル・ディグリー・プログラムは、派遣先大学での授業科目履修及び研究活動を伴うため学生の経済的負担が大きいことから、渡航費の経費支援を行うことで、意欲と能力ある優秀な学生の新しい挑戦を支援します。

6 グローバルSDにおける海外派遣支援事業 予算額：100万円

若手事務職員に大学の国際化推進に資する能力獲得の機会を与え、職員のグローバル意識や英語スキルの向上を支援します。

7 成績優秀者表彰事業 予算額：187万円

成績優秀者(学部生18名(学部毎2名)、大学院生16名)に対し、学位記授与式にて学長から表彰楯と記念品を授与します。

富山大学基金の寄附受入状況

● 受入期間：令和4年10月～令和5年3月末

寄附の種類	寄附件数	寄附金額
富山大学基金(一般)	73件	9,302,098円
うちリサイクル募金	7件	10,663円
修学支援基金	27件	740,000円
研究等支援基金	17件	143,000円
合 計	117件	10,185,098円

富山大学トピックス

「富山大学医学部基金」を新設



医学部のミッションである「地域と世界で活躍できる医療人の養成」を達成するため、医学部設置50周年記念事業の一環として、新たに「富山大学医学部基金」を立ち上げました。

富山大学、メルマガはじめます！



毎月、富山大学の
最新情報をお届けします

- ・学長からのコメント
- ・教育・研究情報
- ・イベント情報 …など

登録方法

STEP1

QRコードを
読み込み
登録ページに
アクセス！

STEP2

登録フォーム
に必要事項を
入力し送信！
仮登録メール
が配信されます

STEP3

仮登録メール
から本登録URL
にアクセスする
と登録完了！

STEP4

富山大学の
最新情報が
届きます！



富山大学基金に関するお問い合わせ先

富山大学総務部総務課広報・基金室(基金担当)

〒930-8555 富山市五福3190 Tel. 076-445-6178 Fax. 076-445-6063

E-mail: kikin@adm.u-toyama.ac.jp URL: https://tomidaikikin.adm.u-toyama.ac.jp





おもしろい
人文学



ご自宅からオンラインでもご参加いただけます

富山大学

ホームカミングデーは、卒業生に母校を訪れ、同級生や恩師との旧交を温め、在学生や現役教員との交流機会を提供することで、母校との繋がりを強めていただく取り組みです。今年度は創己会が担当し、高岡キャンパスで行います。当日は学祭「創己祭」が開催されており、学生が制作したグッズ販売やものづくり体験、ライブやダンスパフォーマンスなど、芸術を学ぶ学生ならではのイベントが多彩に準備されています。同窓生やご家族をお誘い合わせの上、この機会にぜひ高岡キャンパスを訪れてみてください。

参加方法

Web上のエントリーフォームよりお申し込みください。
《締め切り日:10月11日(水)》
オンライン参加者に参加用URLを連絡します。
富山大学ウェブサイトのトップページ「EVENT」のリンクボタンをご利用ください。
<https://www.u-toyama.ac.jp/event/71694/>



当日は
五福キャンパスから
送迎バスを運行

ホームカミングデー

ウォーカビリティを推進するしくみづくり

開催日時

2023年10月14日(土) 10時~12時

開催場所

開催会場: 万葉社会福祉センター2階 教養集会室
高岡市二上町166番2号(高岡キャンパス西隣)

開催方法: ハイブリッド形式(集合形式+オンライン配信)

開催内容

- 9:30 開場
- 10:00 開会:(司会・進行) 富山大学芸術文化学部長 長柄 毅一
- 10:05 主催者挨拶と大学の現状紹介: 富山大学長 齋藤 滋
- 10:20 共催者(担当同窓会) 挨拶: 創己会会長 平川 大
- 10:25 シンポジウム『ウォーカビリティーを推進するしくみづくり』
講演①「歩行を支援する『まちなかカート』」
芸術文化学系教授 河原 雅典
- 10:40 講演②「健康都市のデザイン:ウォーカビリティーの高いまちづくりによる肥満予防」
医学系教授/医学部長, 大学院総合医薬学研究科長,
大学院医学薬学教育部長 関根 道和
- 10:55 講演③「成熟都市が目指すWalkable City」
都市デザイン学系准教授 高柳 百合子
- 11:10 講演④「街に驚きを創るアート」
芸術文化学系助教 佐藤 弘隆
- 11:25 質疑・応答
- 11:45 富山大学の財務・基金からの報告: 同窓会・基金担当理事・副学長 武山 良三
- 11:50 富山大学同窓会連合会会長 坂井 孝幸
- 12:00 閉会
- 12:15 交流会: 高岡キャンパス食堂
- 13:30 高岡キャンパス見学会:
先進アルミニウム国際研究センター~芸術文化図書館~技藝院
- 14:30 終了

創己祭
高岡キャンパス
同日開催

主催 富山大学 担当事務局: 富山大学総務部 総務課 共催 高岡短期大学・富山大学芸術文化学部同窓会・創己会
Tel. 076-445-6011 E-mail: soumuka@adm.u-toyama.ac.jp

協力 富山大学同窓会連合会

人文学部同窓会、教育学部同窓会、経済学部同窓会・越嶺会、理学部同窓会、医学部同窓会、
薬学部同窓会・薬窓会、工学部同窓会・仰岳会、高岡短期大学・富山大学芸術文化学部同窓会・創己会、都市デザイン学部同窓会

富山大学同窓会連合会事務局

〒930-8555 富山市五福3190 Tel. 076-445-6335 Fax. 076-445-6697 E-mail: alumni@ctg.u-toyama.ac.jp

経済学部創立99周年越嶺会総会へのお誘い

来年 100 周年のイベントです。ぜひお出かけください。

日時：2023年**10月15日（日） 12：00**

会場：オークスカナルパークホテル富山

富山駅北口（富山市牛島町11-1 電話：076-433-1122）

会費：6千円 （新卒3年まで5百円。現役学生も5百円）

FAX 送信票（越嶺会事務局 FAX:076-445-6419）

10月15日（日）総会に 出席する 欠席する

お名前 _____ 学部・短大・院 回
昭、平、令 年卒

通信欄

住所変更通知欄（越嶺会事務局 FAX:076-445-6419）

住所や姓名等に変更があった際はFAX等でお知らせ下さい。

お名前 _____ 昭、平、令 年卒（第 回）

新住所 _____

新電話 _____

（差し支えなければメールアドレス _____）

新勤務先 _____

— 通信欄 —